

巻頭言

神戸看護学会の設立と学会誌の創刊について Establishment of the Kobe Academy of Nursing Science and the first of publication of its academic journal

鈴木 志津枝
Shizue Suzuki

神戸看護学会の設立にあたっての思い

神戸看護学会は、看護学の発展と会員相互の学術的研鑽を図り、もって地域の人々の健康と福祉に貢献することを目的として、2016年4月1日に設立されました。同年10月30日に開催された第1回神戸看護学会学術集会記念講演会は、東京大学大学院人文社会系研究科教授の榊原哲也先生に、新たな「ケアの現象学」をテーマにご講演いただきました。約80名の学術集会参加者は、記念講演に対して大いに満足されていました。本学術集会にご参加いただけなかった会員の皆様にも講演内容をお読みいただきたく、本学会誌創刊号に講演内容を貴重な記録として掲載いたしております。

会員になっていただいた皆様の中でも、「何故、今、神戸看護学会を設立したのか」という疑問を持たれた方も多いのではないかと思います。看護学会の設立を考えるきっかけになったのは、神戸市看護大学の卒業生や大学院修了生が看護の質向上や看護学の発展にリーダーシップを発揮していくために、大学としてどのような支援をしていけばいいのかという疑問からでした。さらに、神戸市看護大学の開学20周年を迎え、本学の使命でもある『地域の人々の健康と福祉への貢献』を可視化できるようにしていきたいと考えたからです。さまざまなアイデアを検討した結果「看護学会の設立!」という結論に至りました。その後、学会設立検討プロジェクトチームによる看護学会に関する情報収集や教員間での看護学会設立に関する討議を重ね、発想から1年を経て神戸看護学会が設立されました。神戸の地で看護学会を設立できましたことに対して、本当に喜ばしく、関係諸氏のご尽力に敬意を表したいと思います。

さて、全国には看護学会や専門看護学分野の学会も沢山あります。発足したばかりの規模の小さい神戸看護学会が、他の看護学会と同様の事業を実施しても会員の満足にはつながらないと思います。それでは、本学会の活動にどのような独自性を持たせていけばいいのでしょうか。本学会が小規模であることから、会員相互の顔の見える関係性を強みとして活かせるような企画を提案していきたいと思います。また、会員間のネットワークを構築していけるように、例えば、学術集会時に各分野の専門看護師や神戸市看護大学教員によるコンサルテーション窓口の開設やテーマを決めて検討会を開催するなどの企画も考えられます。さらに、柔軟なアイデアを持つ看護学生や経験の浅い看護職と学術集会担当者が共同で企画するユニークな事業など、会員と学術集会担当者が共に創り上げていく事業ができればと思います。

また、本学会は地域に根差した看護学会であるということから、学会という共通の場を通して地域

の看護職の力を結集し地域の課題を解決していく道を探り、神戸の地から看護の質向上や看護学の発展に有用な情報を発信していきたいと考えています。

神戸看護学会誌創刊にあたり期待すること

学会の最も重要な活動の一つである学会誌の創刊号が発刊されることになりました。ここに至るまで、編集委員会委員長を中心として学会誌の体裁や投稿規定の起案、学会誌第1巻の編集方針の決定、学会誌の編集作業など重要な役割を担っていただきました。学会設立から1年で『神戸看護学会誌』第1巻を発刊できる運びになったことは、本当に喜ばしいことであると思います。

神戸看護学会誌の役割は、看護の発展に有用な情報や貴重な研究成果をタイムリーに紹介していくことだと思います。このたび、会員の皆様に創刊号を少しでも早く届けたいという理由で、投稿論文(論説、総説、原著、研究報告、実践報告、資料)は掲載せず、本学会が設立に至った経緯および本学会が目指すこと、ロゴマーク作成の経緯、会員からの本学会に期待すること、第1回学術集会記念講演会の講演内容などを含めて創刊号を発刊いたしました。会員の皆様にとりまして、有用な情報となり、知的好奇心を刺激しますことを心より願っています。

現時点で、神戸看護学会誌は年1回の発刊予定であり、第2巻からは会員の皆様の貴重な研究論文等を積極的に掲載していきたいと考えています。会員の皆様が投稿しやすく、研究成果をタイムリーに掲載できるように真摯に努力していきたいと思いますので、是非とも投稿の準備を進めてくださいますよう、お願い申し上げます。

今後は学会誌に対して会員の皆様はもとより多くの方々にも忌憚のないご意見をいただきながら、さらに良い学会誌として成長することを願ってやみません。

最後に

今後、神戸看護学会が建設的で有益な場となり、看護学生や看護専門職者の看護実践や教育・研究活動、リーダーシップ教育の推進に貢献し、会員の皆様とともに神戸の地で存在価値のある看護学会に発展させていきたいと願っています。

最後になりましたが、本学会の運営のために縁の下の力持ちになってご尽力いただける方々に対して、心から感謝したいと思います。今後ともご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。